

令和7年度
学校だより
第19号

あかさか

おもいやりの心を持ち お互いに高め合い
たくましく生きる子ども



伊達市立大田小学校
文責：芳賀沼真由美
令和7年9月12日

☆☆ 心を合わせて ～地区小中学校音楽祭～ ☆☆

9月10日(水)に、伊達ふるさと会館MDDホールで伊達地区小中学校音楽祭が行われ、本校の代表として4年生が参加しました。4年生は1学期から練習を始め、夏休みの自主練習、2学期の音楽の授業で練習を重ね、「たいようのサンバ」と「八木節」を披露しました。

「たいようのサンバ」はサンバのリズムにのせて、明るいメロディが特徴的な曲です。「心ウキウキ、気持ちフワフワ」や「ちょっとドキドキ、だけどワクワク」などの歌詞に合わせて、振りを付けて笑顔で元気いっぱい歌いました。

「八木節」は群馬県と栃木県の2県にわたり、愛されている俗謡・盆踊り唄です。太鼓などの打楽器のリズムに合わせて、オルガン、木琴・鉄琴、リコーダー、鍵盤ハーモニカなどでメロディを演奏します。リズムの難しい部分もありましたが、心を合わせて楽しく演奏することができました。

音楽祭に向けた練習を通して音楽の楽しさを改めて感じ、会場いっばいに素敵な演奏を届けることができた4年生。すばらしい演奏をし、マナー良く鑑賞できた4年生に大きな拍手を送りたいと思います。

早朝から楽器の運搬や会場での応援にご協力いただいた保護者の皆さん、ありがとうございました。



本番では、あまり緊張しないで演奏することができました。練習よりも上手に演奏することができて良かったです。 【4年生】

緊張しながら「たいようのサンバ」の振りをしました。「八木節」はテンポが速くなったり遅くなったりせずにできました。 【4年生】

4年・5年研究授業

9月8日(月)の2校時に4年生の算数科「わり算の筆算を考えよう」、3校時に5年生の体育科「ハードル走」の研究授業を行いました。

これまで学習したことを生かして「3けた÷2けた」の筆算に取り組む4年生、友だちと協力しながら繰り返しハードル走の練習をする5年生の姿が素敵でした。

今後も、子どもたちの「わかった!」「できた!」が実感できる授業づくりをしていきたいと思います。



【4年】算数科



【5年】体育科



日頃より子どもたちの安全な登下校にご配慮いただき、ありがとうございます。

大田小では、教職員の勤務時間が8:10～16:40となっております。登校後の子どもたちの安全を確保するためにも、**7:30～7:45**を目安に登校できるようお願いいたします。

また、事情により車で送迎する場合には、路上駐車ではなく、交流館駐車場等に駐車し、お子さんが安全に乗り降りできるよう、ご協力をお願いいたします。